THIS LEPHUS



OMNES FU MS PRESENTS

IN ASSIGNATION WITH NORD-DUEST, COLORECT FLOWS, A MAJOR PRODUCTION, AND THROUGH THE LEWS ENTERTAINMENT 11 TO DEARSON LUND STUDIES, THE HILL AND RECORDED SHEET WITHOUT CAREFY LUND THE TARRENT LANGUAGE CONTROLLING THE TARRENT LANGUAG

監督・脚本・編集:カーソン・ランド 制作:カムネス・フィルムス 出演:キース・ウィリアム・リチャース、ビル・スペースマン・リー、クリフ・フレイク、フレデリック・ワイスマン(声の出演) 2024年〈アメリカ・フランス 英語 98分・シネスコ カラー 後 toto、G 帰題:Eaphus 日本語学等・田園賞美子/配給・トランスフォーマー

Sofilm A Standard Coffee S Caprice Caprice

取り壊しの決まった慣れ親しんだ野球場、今日が"最後の試合"—— 過ぎ行くかけがえのない時間をユーモアと哀愁たっぷりに描いた《脱力系》ベースボール・ムービー!



オフビートなユルい笑いと心に残る予想外の切なさでカンヌを魅了した話題作。監督は、独創的な映画作りで注目を集めるL.A.発の映画製作コレクティブ"オムネス・フィルムズ"に所属する新鋭カーソン・ランド。長編デビュー作なが

突き出たお腹、もたつく足、空を切るバット・・・ビール片手にヤジを飛ばしながら、大好きな野球に興じる男たちの姿を愛らしく滑稽に描くと同時に、誰もが感じたことのある"過ぎ行く楽しいひと時"へのセンチメンタルな感情をノスタルジックな輝きに満ちた映像で映し出す。今までの野球映画とはひと味違う、ユーモアと哀愁溢れる、まるで"変化球"なあなたの心の一本になる映画!



大好きな野球を

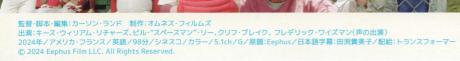
ら、確かな作家性と撮影監督出身の映像センスを惜しみなく発揮し多くの批評家を虜にした、これからの米インディペンデント映画界を背負う注目株だ。

STORY

地元で長く愛されてきた野球場〈ソルジャーズ・フィールド〉は、

毎週末のように過ごしてきたこの球場に別れを告げるべく集まった草野球チームの面々。 言葉にできない様々な思いを抱えながら、男たちは"最後の試合"を始める…。











ムビチケオンライン 絶賛発売中 ¥1,600(概込)



JR[新宿駅]東口より徒歩5分 **新宿ピカデリー** 50.6861-3011 emt-cineme com/

明治通り沿い 地下鉄 B1 出口正面 ココチビル 8F ボテアトルシネマグループ **ヒューマントラスト シネマ 渋そ** 03 (5468) 5551 ttcg.jp